

スピアーズ通信

# SPEAR

8

2017



[巻頭インタビュー]

杉本 博昭  
森脇 秀幸

[SPEARS STAFF 仕事の流儀]

トレーナー  
櫛田 慎一

[ドン稲橋のSPMO]

特別企画 どんのなつやすみ

# - 開幕直前特集 -



森脇 秀幸



杉本 博昭

「皆さんこんにちは！ 4年目の高森です。今回のインタビューはトップリーグ開幕直前インタビューということで、今シーズンのスピアーズのキープレイヤー2人にインタビューしてみたいと思います！その前に少しだけ春シーズンのクボタスピアーズのレビューをしたいと思います。フランHCの新体制になって2年目のシーズンとなる今シーズンは『Me better We better(自分が良くなればチームはもっと良くなる)』をスローガンに掲げて臨みました。今年の春シーズンはなんと行ってモーリシヤスMooreがありました。10人制の世界大会に参加してスーパーラグビーのチームを筆頭に世界の強豪と試合をし、大舞台を経験出来ただけでなく、チームの結束も深まりました。(行ったメンバー羨ましい！ほんとに！)そしてもちろん15人制の試合も行いました。練習試合を5試合行い、結果は2勝3敗でしたが、試合を重ねる毎に課題を見つけ、修正していくことで内容がどんどん良くなっていきました。



また新戦力も躍動しました。同志社大出身のFL末永選手は豊富な運動量とブレイクダウンでの働きで存在感を発揮し、流経大出身のCTBシオネ、テアウパ選手はスピードとフィジカルの強さで何度もDFラインを突破してアピールしました。新戦力も加わり、より戦力が充実したクボタスピアーズは8月19日に開幕戦を迎えます。相手はパナソニックワイルドナイツ。ここ2シーズンの対戦成績は27-30、25-34と、僅差で敗れているだけに、TOP8に入る為には何としても勝って流れに乗りたいところです！

そして今回は開幕戦の、いや今シーズンのキープレイヤーになるであろう2名の選手にインタビューしたいと思います！

今季のスピアーズのバイスキャプテンH.O.杉本選手とチームの指令塔S.O.森脇選手です！

それではまずは杉本バイスカップ  
テンからです。練習後にクラブハウ  
スで仕事をしている所にお邪魔し  
ました。



―春シーズンから夏合宿まで終え  
てみて、開幕戦に向けて、手応え  
はどうでしょうか。

今年はフランHCが就任してか  
ら2年目のシーズンとなります。昨  
年はチームの戦術を理解するところ  
から始まりましたが、今年はその  
戦術をどこまで追求できるかが、と  
ても重要になってきます。チームと  
して開幕に向けて春シーズンから  
夏合宿まで着々と仕上がってきて  
おります。特にFWとBKのリンク  
プレーのところをもっと強化すれ  
ばチームは更にレベルアップして  
成長できると感じております。

―今年のFWはどうでしょうか。

今年のFWは経験豊富な選手が  
多数いますし、身長・体重も他のト  
ップリーグチームと比べると、上位  
の方だと思います。また、今年に入  
って最初のミーティングで私から  
皆に「チームには一人のリーダーで  
はなくして選手一人一人がリーダー  
となってFWを強くしよう。」と言  
いました。その結果、それぞれがや  
るべきことを理解して実行してい  
るので、試合中の修正能力は格段に  
上がったんじゃないでしょうか。今  
年の更なる戦術強化としては、ライ  
ンアウトモールでトライを取って、  
チームの強みにしたいですね！  
―TOP8という目標に対する手  
応えはどうでしょうか。

はい、あります。先ほども言いま  
しましたが、戦術の理解は昨シーズン  
でクリアしました。今シーズンはF  
WとBKがどれだけリンクしてト  
ライに繋がられるかが、目標達成す  
るための鍵だと思っております。

―杉本選手の個人的な今シーズン  
のテーマを教えてください。

私の個人的なテーマとしては、ポ  
ジションがフッカーなのでセット  
プレーの安定を目指したいですね。

ラグビーのプレーの始まりはセッ  
トプレーから始まりますから。セッ  
トプレーで優位に立てれば、試合も  
有利に運べるので、結果にも結びつ  
いてくると思います。

―杉本選手にとって開幕戦とい  
うのはどんな思いがありますか。

開幕戦で勝利することは、チーム  
に勢いをもたらすので、必ず勝利し  
たいですね！

―今シーズン注目してる選手を教  
えてください。

今シーズン楽しみな選手は、新人  
の末永選手です。彼はルーキーなが  
らフィジカル・フィールドプレー共

に素晴らしいパフォーマンスをし  
てくれているので、頼もしい選手の  
一人です。

―では、ファンの方に向けてメッセ  
ージをお願いします！

いつもいつも応援ありがとうございます  
ございます。今シーズンは皆さんと一  
緒に勝利の喜びを味わいたいと思  
います。是非、試合会場に足を運ん  
で頂き、僕達の激しい体の張ったプ  
レーを生で観に来て下さい。宜しく  
お願い致します！

―杉本選手ありがとうございます！  
た！





— 続いてトレーナーにマッサージを受けていた森脇選手です。よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

— まず、春シーズンを終えて開幕への手応えはいかがでしょう。

はい、良い感じだと思います。フランの新体制になって2年目で、昨シーズン築き上げたものが土台となっていて、今シーズンは更に磨きがかかってきていると思います。

特にDFが良くなったと思います。DFラインが整備されて、タックルからボールを奪うまでの精度が上がったと思います。

ATでは相手を崩すところまでは出来ているので、後はトライを取り

切るところまでの精度を開幕までに磨いていきたいです。

— 今年のBKはどうでしょう。

今年からは『Beat your man(1対1で相手を抜く)』をテーマにしてやってきました。また『スペースを見つけ、そこにアタックすること』にもこだわってやってきました。

春から続けてきたことが夏合宿で良い形で出たと思うので、開幕に向けてより精度を高めたいと思います。また私のポジションはいかに1対1の状況やスペースを生み出せるような組み立てをするのが役割なので、BKのアタックを生かせるかは自分次第だと思ってプレーしています。

— TOP8に向けての手応えはいかがでしょう。

もちろん自信はあります。そこに行く為にはDFもそうですが、エリアを取って戦えるかが重要だと思っています。セットプレーで勝つ事もそうですが、全員がスペースを見つけて、パス、キック、ランを組み合わせて敵陣でプレーする時間を増やすことが出来れば、TOP8という目標も達成出来ると思っています。

— 森脇選手の個人的な今シーズンのテーマを教えてください。

もう今年で32歳でトップリーグ10年目のシーズンになるので、経験や知識を後輩選手に伝えていくのも大事な役割になってくると思っています。それでも個人的にまだまだ成長するつもりで頑張りたいと思います！

— 今シーズン注目してる選手を教えてください。

楽しみなのは千葉ですね。練習から見て本場にプレーの幅が広がったと思う。今までだったらコンタクトしてたような場面でもステップをきいたり、パスを選択したり。

元々コンタクトの強さはチームでもトップレベルだったので、とても楽しみです。

— 最後にファンの方にメッセージをお願いします。

いつも熱い声援をありがとうございます。今シーズンは結果にこだわって、ファンの方と一緒に喜ぶことが出来るシーズンにしたいと思っています。是非会場に足を運んで頂いて、感動を一緒に共有することが出来れば幸いです！是非ともよろしくお願ひします！

— 森脇選手ありがとうございます！



# プロフェッショナル spears staff

## 仕事の流儀

第三回はスピアーズスタッフの中で最年少の26歳。トレーナーを務め2年目となる榎田慎一(くしだしんいち)さんの仕事の流儀を紹介します。

### ◆榎田慎一

スピアーズのトレーナーとして怪我予防のテーピングや、リハビリ指導、選手のコンディショニングケアを担当する。神奈川県出身で2016年にスピアーズにスタッフとして加入。スピアーズで本格的に現職のキャリアをスタートさせた。選手の身体のケアをサポートし、特に怪我をした選手の治療や、グラウンドでの外傷対応にあたる。トレーナーの3人の中だけでなくチームスタッフの中でも最も若いフレッシュマン。

「野球少年からトレーナー業へ」

小学校から野球を始め、高校までは甲子園を目指す野球少年として育った。「大学進学の際、野球を続けるかスポーツに携わる仕事の勉強をするかで悩みました。」

悩んだ末、将来長くスポーツに携わりたいという気持ちが強く、大学で現職の勉強を始める。その後さらに知識の幅を求め専門学校へ。「専門学校在学中に現スピアーズのヘッドトレーナーである吉田一郎さんと出会った。その縁で様々な経験をさせていた

きました。昨年吉田さんがスピアーズに入るとのタイミングでお声がけをいただき、私も卒業後すぐに現職に就くことができました。」

### ◆根っからの負けず嫌い

野球少年時代から負けることが大嫌い。「もちろん僕がグラウンドに立つて戦うわけでありませんが、負けるのは本当に嫌です。勝った時の喜びは何事にも変えられないものがありますし、この仕事の楽しさは勝った時に初めて味わえると思っています。」

昨年初めて入った試合前のロッカーやベンチの中の雰囲気、緊張感の違いを感じた。

「開幕戦は特に緊張しました。やることは前日までに頭に入れていたのですが、ウォーミングアップから張り詰めるような緊張感の中で、頭は真っ白。でも近くでサポートしたからこそ、勝った時の喜びは大きくなりました。昨年のリコー戦で逆転勝ち(終了間際の立川理の逆転トライでの勝利)は、鳥肌が立って思わずベンチの裏でガッツポーズをしていました。」

### ◆ポジティブ!!

そんな榎田さんの仕事の流儀。  
「ポジティブな姿勢、態度」

「トレーナーという仕事柄、主に心身の不調を訴える選手の対応が中心です。怪我したばかりの時に明るい人はいません。そんな時に僕がネガティブな態度をださないようにしています。」

選手の中には大きな怪我した際、またリハビリに取り進む過程でどうしてもネガティブになり、自分の外側に矢印が行きがちになる。「リハビリメンバ―がやらなくてはいけないこと、それは怪我を少しでもよくすること、復帰した時に少しでも違和感なくプレーできるようにすることです。それをより明確にイメージしてもらえようように心掛けています。」

### ◆固執せず、チャレンジ!

「選手からはスマイルトレーナーと呼ばれるぐらい、まだスキルや経験が足りない、ので、すべてのことにチャレンジ精神をもって活動したいです。」経験が浅いからこそ、一つの視点ややり方に固執しない強みもある。「選手の中から“良くなった”という声を一人でも多く引き出せるよう、日々様々な視点、方法にチャレンジしてチームの勝利に貢献していきます。」

特別号

SPMO

～魅せる 槍男の日常～

## 『どんのなつやすみ in 沖縄』



ハイサ～イ！沖縄の文化に触れ、少し優しくなって帰ってきました DON INAHASHI です！  
今回は 7/27(木)～7/30(日)のオフを利用し、入団2年目の SH 岡田一平と一緒に沖縄県名護市にある、名護商工高校にラグビー指導に行ってきました。  
名護商工ラグビー部の子供たちはとても素直で、「花園出場」を目標に僕たちが提供するメニューに対して前向きに、必死に取り組んでくれました！  
また、保護者会・地域の方が4日間通して熱烈に歓迎してくれて、僕たちを家族が帰ってきたかの様に迎えてくれました。

4日間、ラグビー部の子供たち、地域の方々と触れ合う中で「トップリーガーが子供たちに夢を与えられる」こと、「僕たちが活躍する事が恩返しになる」ことを実感しました。

今シーズン、名護のみんなに良い結果報告が出来るようシーズン最後まで戦い抜きたいと思います。



特別号

SPMO

～魅せる 槍男の日常～

## 『どんのなつやすみ in 沖縄』①



地域の公民会で盛大な歓迎会を開いてくれました。  
立派な横断幕、エイサーや、沖縄料理など、最高のおもてなしを受けました！

名護商工ラグビー部の監督・メンバーと集合写真。  
プレート、琉球グラスなどのプレゼントを貰いました！



二部練の間の休み時間に古宇利島へ！  
4日間の間は天候にも恵まれ、  
綺麗な海、砂浜も満喫する事が出来ました！  
(二人とも綺麗なタンクトップ焼けが完成しました)



特別号

SPMO

～魅せる 槍男の日常～

## 『どんのなつやすみ in 沖縄』②



2020年 東京オリンピック  
聖火ランナー候補に挙げられている  
宮里 操さん(通称:おじい)と奥さん。  
1964年の東京オリンピックの聖火ランナーも務められました！！



↑  
最終日、名護高と練習試合を実施！キック差で勝利しました。練習で行った事が実行出来ていて、これからが楽しみ！  
← 現地人の様な装いで帰路へ(岡田)  
南国気分そのままに帰路へ(DON)→

